

令和7年度 八戸市総合教育センター運営協議会会議録

日時：令和7年11月4日（火）15：00-16：30

会場：八戸市総合教育センター 第1研修室

出席委員：11名

石塚委員、佐々木委員、木村委員、佐藤委員、高橋委員、吉岡委員、太田委員、和泉委員、大沢委員、木南委員、本井委員

事務局：11名

齋藤教育長、沼上次長、鈴木総合教育センター長、田端総合教育センター副所長、青木主任指導主事、佐々木主任指導主事、馬渡主任指導主事、西村主任指導主事、乙山主任指導主事、豊島教育指導アドバイザー、伊崎教育指導アドバイザー

会議内容：下記の通り

（事務局：田端）

本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。本日の進行を担当します総合教育センター副所長の田端と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、ただ今より「令和7年度八戸市総合教育センター運営協議会」を開催いたします。

まず、はじめに、齋藤教育長が運営協議会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。

委員の皆様のお名前を、順にお呼びいたしますので。お名前を呼ばれましたら、その場にお立ちください。

八戸市連合父母と教師の会 代表

石塚勇一朗（いしづか ゆういちろう）様

八戸市小学校長会 代表

大館秀光（おおだて ひでみつ）様

本日は、所用のため欠席となっております。

八戸市中学校長会 代表

佐々木宏恵（ささき ひろえ）様

八戸市小学校教育研究会 代表

木村朋子（きむら ともこ）様

八戸市中学校教育研究会 代表

佐藤俊之（さとう としゆき）様

八戸市小学校教頭会 代表

高橋正之（たかはし まさゆき）様

八戸市小学校教務主任会 代表

吉岡津貴教（よしおか つきのり）様

小学校 研修主任 代表

太田麻木（おおた まき）様

八戸市小学校教育研究会理科教育研究会 代表

和泉知子（いずみ ちかこ）様

八戸市小学校教育研究会視聴覚教育研究会 代表 大沢泰尚（おおさわ やすたか）様

八戸市教科等研究委員 代表 木南裕子（きなみ ひろこ）様

八戸市小学校教育研究会外国語教育研究会 代表 本井祐美子（もとい ゆみこ）様

本日は、委員の皆様を代表いたしまして、八戸市連合父母と教師の会 代表 石塚勇一朗様

に、齋藤教育長より委嘱状を交付いたします。

それでは、齋藤教育長お願ひいたします。

(齋藤教育長)

委嘱状。石塚 勇一朗 様。八戸市総合教育センター運営協議会委員を委嘱します。期間令和7年11月4日から令和8年3月31日までとします。八戸市教育委員会 教育長 齋藤 信哉。よろしくお願ひします。

(事務局：田端)

ありがとうございました。皆様ご着席ください。

石塚様以外の委員の皆様には、委嘱状をあらかじめ卓上に配布させていただいておりますのでご確認ください。

では、続きまして、教育長 齋藤信哉が、皆様にご挨拶を申し上げます。

(齋藤教育長)

はい。それでは改めまして皆さんこんにちは。

秋がもうだんだん深まって、朝晩は冬が来たなと思うぐらい冷え込んでまいりました。あつという間に10月が終わり11月に入ったわけですけれども、先週末の土曜日ですか、朝からの雨そして風、大変すごい台風でも来たかなと思うような天候がありました。

実はこの日、湊小学校の150周年記念式典が行われております、夜は祝賀会ということで、予定通りとは言えませんでしたけれども、1時間遅れで式典が開始となって、夜は星空が見えるくらい天気が良くなかったわけですけれどもね。もしこれが平日、子どもたちが学校に通う日であれば我々教育委員会、そして校長先生はじめ、学校現場の先生方がどう対応しただろうと。そういったところを考えながら、この土曜日の午前中過ごしました。

幸いと言ったらなんですけれども、子どもたちへの被害は全くなかったのですが校舎の周りの木が倒れたり、あるいは屋根のトタンが剥がれたり、そういった被害があり、教育総務課の方が手分けしてその対応に追われているところでございました。

なかなか、今の世の中、予測困難な時代と言われていますけれども、この自然災害もまさに予測ができないような事態が急にやってくると、そういう世の中になってきたなと思っております。教育委員会といたしましては、子どもたちの命最優先ということで、まず子どもたちの命を守る、これをしっかりとやっていきたいと考えながら今進んでいるところでございました。

皆さんもご承知の通り、今学校現場では様々な課題が山積する状況にあります。例えば、GIGAスクール構想の次なる段階への移行。そして不登校児童生徒への支援体制の強化、教員の働き方改革など、対応すべき課題が複雑、多様化していると、我々は受け止めておりました。

このような中、当センターの果たすべき役割は非常に大きいと考えております。教育のスキル向上や業務の効率化を図るだけでなく、教育のニーズに応じた様々な支援など、学校が抱える課題の解決に向けた重要なサポート役といった役割も果たせるものだと考えておりました。

本日は、当センターの主な事業について、この後それぞれ担当の方から説明させますけれども、皆様から貴重なご意見やご提言をいただきながら、さらなる充実を目指してまいりたいと考えております。

どうぞ、忌憚のないご意見をいただければと思っておりました。

結びに、役所の関係でいうとちょうど来年度の予算編成のための要求の時期になっております。今日も午後からある課のヒアリングを受けてきましたけれども、やっぱり財政事情も大変厳しいものがあると。これは事実です。ただ、財政事情を厳しいけれども、その中で1番最優先にやることは何か。そういうものをしっかりと検討して、最終的には子どもたちに恩恵が全部返っていくことを目指してやっております。そういうところも委員の皆さんにはご理解ご協力いただきまして、よろしくお願いしたいと思います。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局：田端)

ありがとうございました。

本日の協議では、事前にお送りさせていただいた「協議会資料」と卓上に配布しております「開催要項等の資料」をもとに、5つの事業について、皆様からご意見を頂戴して参ります。

それでは、開催要項等の資料の5ページ「八戸市総合教育センター運営協議会規則」をご覧ください。

第3条に「協議会は、会長が招集する。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後、最初に招集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う」とありますので、会長選任までの議長を教育長が行います。

また、同じく第3条第2項に「協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議をひらくことができない」とあります。本日は、委員の皆様の半数以上が出席しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、斎藤教育長、進行をよろしくお願いします。

(斎藤教育長)

はい。それでは協議会規則に従いまして、会長選任までの議長を務めさせていただきます。宜しくお願い致します。

それでは、協議会の会長及び副会長の選任に入らせていただきます。

開催要項等の資料の、八戸市総合教育センター運営協議会規則第2条に、「協議会には

会長及び副会長各1名を置く。会長及び副会長は、委員の互選によって定める」とあります。

会長・副会長に自薦される方ならびに推薦がある方は、挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、自薦推薦、共にいらっしゃらないようですので委員の皆様、宜しければ事務局案を提案させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。では、事務局案をお願いいたします。

(事務局：鈴木所長)

はい。事務局案といたしまして、協議会の会長は、八戸市小学校教育研究会代表 木村校長先生、副会長は、八戸市中学校教育研究会代表 佐藤校長先生にお願い致したいと思います。

(齋藤教育長)

ただいまの事務局案を承認いただける方は、拍手をお願いします。

(委員) 拍手

(齋藤教育長)

それでは会長、副会長の選任が終わりましたので私の役目をここで終わらせていただきます。どうぞ委員の皆様にはこの後の審議宜しくお願ひいたします。

(事務局：田端)

それではこれで、齋藤教育長は公務のため退席いたします。

(齋藤教育長)

それではどうぞよろしくお願ひいたします。(退席)

(事務局：田端)

それでは、協議に入ります。ここからの進行はセンター運営協議会規則に従いまして、会長の木村様にお願いいたします。よろしくお願ひします。

(木村議長)

はい、では本日議長を務めさせていただきます、根城小学校校長の木村です。どうぞよろしくお願ひいたします。

議事の進行に先立って一言、私の方からお礼を述べさせていただきます。まずは、総合教

育センターの皆様には日頃より教職員の研修会を始めとして、各事業の充実により教育活動の方を支えていただき、また子どもたちへの確かな学力、そして教育活動がスムーズに進められるようたくさんのご支援いただいております。本当にありがとうございます。

今日の協議会で、この感謝の気持ちを皆様からご意見として届けて、さらに各事業がより良いものとなるよう、私たちも意見を交わしながら進めていきたいと思いますので、どうぞ皆様ご協力の方をよろしくお願ひいたします。

それでは、本日の進行について確認いたします。センターの5つの事業について、それぞれ項目ごとに協議いたします。

最初に、事務局より事業報告を5分程度行い、その後質疑応答を行います。本日の協議会では、委員の皆様全員からご意見を頂戴したいと思っておりますので、積極的にお願いします。なお、協議終了は16時20分を予定しておりますのでご協力ををお願いします。それでは早速協議会をはじめさせていただきます。まず、「教職員研修事業」について事務局より報告願います。

(事務局：佐々木) 説明

(木村議長)

はい、ありがとうございました。それでは、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、急にはいどうぞと言われても非常に苦しいかと思いますので、まずは今の説明を聞いての感想等を含めてお話いただければと思います。時間が限られているのでちょっと考えて下さいという時間をあげることができず申し訳ありません。ご意見ある方から挙手いただければ助かります。高橋先生お願いいたします。

(高橋委員)

青潮小学校の高橋です。研修の方は、今のニーズに合った研修を選べるようになっていて、大変いいなと思って、ありがたいと思っています。一つお聞きしたいのですが、私も先生方に研修に行ってきました後、「事後アンケートやってね」と口うるさく言っているのですが、実際のところ事後アンケートの回収率どんな感じになっていますか。もしこのままでいいのであればこのままですし、もっと回収したいのであれば、もっと声をかけていきたいと思っていましたのでよろしくお願いします。

(事務局：佐々木)

お答え申し上げます。事後アンケートの方ですが、答えてくださる先生方が多く、その意見を参考にできるのはすごくありがたい状況ですけれども、100%というところまでは実はいってなくて、講座にもありますが、大体7割ぐらいの先生方が答えてくださっているので、もう少し現場で呼びかけていただけると、さらにニーズを吸収できるのでよろしくお願い

いたします。

(高橋委員)

承知いたしました。ありがとうございます。

(木村議長)

ありがとうございます。では中学校長会の代表、佐々木先生お願ひいたします。

(佐々木委員)

ご説明ありがとうございました。先ほど高橋先生からもお話ありましたが、ニーズに合った研修を組んでいただいているので、本校の例ですけれども、今日こういう研修受けて来ましたって言って、やっていいかどうか分からぬですが、資料を全部PDFにして掲示板にあげてくれた若い職員が結構おりました。

なかなか会議の時間を取りとか、研修会の時間を取るとか、時間が限られている中で、研修を受けて心を動かされた職員もありますので、特に今予算の時期、講師を探すのが大変なことは分かるのですが、これからもアンケートなどの声を踏まえた上で講師の選択していくだけだと大変助かります。ありがとうございます。

(木村議長)

ありがとうございます。では、研修主任の太田先生、一般研修等についてで何かあったらお願ひいたします。

(太田委員)

西園小学校の太田です。いつも本当にたくさん研修をしてくださってありがとうございます。

西園の例でいくと、今一般研修として特別支援についてちょうどタイムリーに10月、11月と学校の中で計画をして、特別支援学級の先生方と協力しながら模索していくという時間を持っておりました。不登校傾向な児童等に対して、先生方も探し探し指導をしているのですが、センターの方でもたくさん研修を行っていただいて、心のケアについてですとか、マネジメント、あと特別支援について等たくさんあるのですが、ついこの前学校で話題になったのは、ティーチャーズトレーニングというものに関して、特別支援の先生方からもお話をいただいて、職員みんな納得したというところが結構話題になってありましたので、例えばそういうところについても、もし機会があれば市内の先生方全体で、教師力を高めるということに繋がると思いますので、研修があったりするといいのかなと。そちらを保護者の方ともお話ししていって、共同的に子どもたちをサポートできたらなと思っておりました。

いつも本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

(木村議長)

3名の先生方から質問、ご意見いただきましたけども、どの先生からも研修内容の方が非常に良かったと。プラス次年度へさらに期待という事で、現場のニーズをアンケート等で吸い上げられるように学校の方でも頑張りますので、どうぞ次年度に向けてもよろしくお願ひします。

あと1分ぐらいですが、研修についてはよろしいでしょうか。はい、お願いします。

(石塚委員)

説明ありがとうございました。

いくつか質問がある中、1分でまとめますが、アーカイブ視聴ができるっていうのはすごく良いなと思いました。先生方の働く環境がかなり大変な中で、アーカイブ視聴ってすごく良いなと思った中で、一方でいくつか質問させていただきたいところがあります。大体1つの動画で何分ぐらいかかるものなのでしょうか。

(事務局：佐々木)

はい、お答え申し上げます。1つの動画が、大体1時間程度。1時間から75分ということで、本来であれば先生方としては短い時間で、ピンポイントで、今動画で1時間というのは長いので、編集できればいいんですけど現在その編集まではできていないため、実際の講座を録画したものをそのままアーカイブとして配信している状況になっております。

(石塚委員)

承知しました。ありがとうございます。先生方が見られるデバイスって限られていますか。例えば学校のパソコンじゃないと見られないとか、お手持ちのプライベート携帯からもVPNを繋げば見られるとか、そういったところはいかがですか。

(事務局：佐々木)

はい。お答え申し上げます。端末であれば、先生方にも配られているChromebookではもちろん視聴可能です。お手持ちのスマホとかでも、Classroomの方に接続していればクラスルームの方で共有しておりますので、見ることはでき、場所等を選ばずに視聴出来る状況にはなっております。

(石塚委員)

承知しました。ありがとうございます。アーカイブの方でもう1つ質問させてください。よく回っている動画っていうのが分かったりして、それをランキング付けしていたりするのですか。

(事務局：佐々木)

はい。お答え申し上げます。実は、視聴回数とかも分かると、さらにニーズを受け止められるので、私どもの方でもできるかなと思って探ってはいますけれども、現在のところそこはちょっとできなくて、ただClassroomに参加している人数は把握できる状況にあります。1回目、授業づくりについての内容を中心に5本の動画をあげた時は、32名でした。8月に2回目をあげました。その時は1人1台端末活用とか、不登校とか、生徒指導に関するものが中心でしたが、23名増えていましたので、もしかしたらそちらの方が、ニーズがあるのかなと思っています。その一方で、時期として夏休み中に2本目をあげたので、もしかしたら先生方が、時間的余裕があって入ってこられたということも考えられるので、その数字だけではランキング的にはお答えできないところがあります。

(石塚委員)

いえありがとうございます。質問した背景としては、どういったところに先生方のニーズがあるのか分かるというところと、そういったニーズの強いものは続けていく、もっとプラスアップしてより厚みを持たせていく方が、先生方にとってより良い研修になるのかなと思った背景があったので質問させていただきました。

(事務局：佐々木)

ありがとうございます。

(石塚委員)

2つ提案です。まずアーカイブのところについて提案です。1つは、1つ1時間の動画っていうところでしたが、AIを使って要約するという、セキュリティ的に大丈夫であればご提案したいなと思っていました。GoogleのNotebookLM。ご存知かもしれないですが。あれだったら、動画を動画でぎゅっと要約できるかなと思って。先生方の時間を有効活用する上で、もし今後ご検討されているようであれば、提案させていただきたいのと、アンケート7割というのは高いと思います。でももっと高めていきたいということであれば、先生方がどのタイミングでアンケートやっていらっしゃるか分からないですが、終わった直後にアンケートを入力してご退席いただくっていう方が回答率高いのかなと感じました。もしご検討の余地があればご検討いただければなと思いました。すみません、長くなりました。以上です。

(木村議長)

貴重なご意見ありがとうございました。では参考にしていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

次の「教科等研究委員制度」について事務局より報告願います。

(事務局：西村) 説明

(木村議長)

それでは委員の皆様からご意見、ご質問等はありませんでしょうか。はい。では、外国語教育研究会代表の本井先生、お願ひします。

(本井委員)

外国語研究会の本井と申します。私も数年前に教科等研究委員として、ご指名いただきまして、西村先生から直々に多くのことを学ばせていただきまして、大変個人的にも有意義な研修、研究を1年間させていただきました。

ただ、たくさんの先生方と共有しづらかったということ、それから指名でいただくということ、それからチーム制といつても結局は個人研究なところが多くて、1人1人の先生方への負担が非常にかかるのではないか、また色々な課題もあるのではないかと感じました。

そこで1つ教科等研究会の持ち方について、ご提案させていただきたいと思います。

実は各小学校も中学校も、毎年のように県大会、それから東北大会、全国大会レベルの素晴らしい大会があります。各教科の先生たちで一丸となって、小教研なり中教研なりで、たくさん研究したものを発表していますが、共有できないでいるという現状があります。

例えば校内事情や、理事じゃないからという理由で、参加できる人数が決まっています。他教科の発表会を含め、本当は聞きにいきたいのに、行けないことがありますので、この教科等研究会に、そのような全国大会、県大会、東北大会レベルの発表会の成果と課題を聞くことができるといいと思います。大会当日は発表して分科会をやって、市の先生から助言をいただくということで、その研究大会は終わると思いますけれども、その後、成果と課題というのも、それぞれ小教研、中教研で出てくると思います。そういうものも全部含めた、その年の研究大会の成果と課題というのを、こういった場で発表していただけますと、それに参加できなくとも、例えばアーカイブ配信とか、あとで時間ある時や家で見たりとかっていうことも可能になるのではないかなと思います。また他の教科の研究も一緒にさせていただくことができるのも良いかと考えます。

また、例えば2日間分のものがなければ、1日でもいいのではないかなど私は思います。1つの提案として考慮していただければと思います。以上です。

(事務局：西村)

ご提案ありがとうございます。今の意見を受けて、また検討したいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

(木村議長)

はい、他にありますでしょうか。では貴重なご提案ありがとうございます。よろしいでしょうか。はい、お願いします。

(佐藤委員)

説明どうもありがとうございました。先ほど伺った、研究委員の方を4月に声をかけていただきたのはとてもありがたいなと思っていました。

現場の声になるか分からぬですけれども、聞こえてきたのはやっぱり学校によっては、複数名いるとどうしても負担が大きいとか、こちらの都合なのですが、中教研、中体連の事務局を兼ねているという先生もいるので、どうしても負担が大きいのかなと思っていたので、事前に情報をいただけるのは、とてもありがたいなと思っておりました。

課題も小教研、中教研と連携を図っていくことでちょっとお伺いしたいのですが、先程、本井先生も話されていましたけれども、私自身も20年くらい前の話ですけども、研修させていただいて、すごく勉強になったなと思っています、その時ちょうど、中教研の教科も当たっていました、私はすごく助かったというか、色々なチームの先生方からも教えていただけますし、主任指導主事からも教えていただけますし、すごくありがたいなと思っています、その時はすごく良かったのですが、教科によっては研究委員でない先生が授業されたりすることがあると思うので、その辺のことを本井先生がおっしゃったように、上手にリンクさせるっていうのができたら、先生方の負担も軽減されますし、研究員の先生もすごく勉強になるのではないかなと思っていますので、配慮いただけするとすごくありがたいなと思っておりました。どうもありがとうございました。

(事務局：西村)

ありがとうございます。

(木村議長)

よろしいでしょうか。現在の負担軽減、それともちろん質の向上というところうまくリンクできるところで方法があれば、ぜひ進めていただければ助かります。

それでは次に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。次の「教育の情報化推進事業・GIGAスクール構想の推進事業」について事務局より報告願います。

(事務局：乙山) 説明

(木村議長)

はい、説明ありがとうございました。では委員の皆様からのご意見、ご質問等お願ひいたします。はい、お願ひいたします。

(石塚委員)

ありがとうございました。個人的なところを言うと、昨年度と今年度で先生方のICT活用かなり上がっていると感じております。自宅で子どもが宿題をする時にも端末を使うようになってきたというところで、これはすごく加速しているなと感じ、感謝を述べたいと思います。

私たち配られている資料6ページのところ、「GIGAスクール構想」に関する調査結果、今日ご紹介していただいたデータの中で、年齢差的なものは何かありましたか。年代別に区切っての見方というのは、検証されていますか。

(事務局：乙山)

お答え申し上げます。年齢差に関する使用のデータというところでは、検証は行っておりませんが、例えば初任者研修や中堅教諭等資質向上研修で、私が講師としてICT活用の研修を行った際のアンケートでは、初任者でも端末を活用するのが苦手でとか、ICTを触るのがどうもちょっと苦手でというアンケート結果が結構出ていまして、こちらとしては、年齢層というよりもその個人が、今までどのようにICTと関わってきたかという部分が大きいのではないかと思っております。

(石塚委員)

ありがとうございます。フィルターのところですけれども、こういうことするとダメですよみたいな、授業とか、フィードバックみたいなのって実際されていらっしゃいますか。

(事務局：乙山)

お答え申し上げます。ログに関してはそれを具体的に学校現場に示すという機会はございませんでしたので、今いただいた意見をもとに、今後そういったところをどう学校の方に下ろしていくかということを検討していきたいと思います。ありがとうございます。

(事務局：鈴木所長)

いいですか。はい、すみません。補足ですが、技術の教科では情報セキュリティという情報内容がありまして、その中でモラルがメインではないですが、情報セキュリティという中で、これをやつたらだめとか、これを使ったりすると、というのは授業の中で技術科教員が行う授業がありますので、それを3年間繰り返すということは、授業の中ではあるという事を申し添えしたいと思います。

(石塚委員)

ありがとうございます。技術科教員の先生がということですが、それは中学校ですか。

(事務局：鈴木所長)

はい、中学校では内容が必修になっています。

(石塚委員)

承知しました。小学校ではそこはまだ今後ということでしょうか。

(事務局：鈴木所長)

小学校の内容までは、すみません、把握しきれていません。

(石塚委員)

はい、ありがとうございます。個人的なところですが、やめることリストってすごくいいなと思いました。やめられる部分がかなりあるなと感じていたので、こういういったところをご検討いただくっていうのはすごくいい取り組みだと思いました。もっと削減していいものとか、あとは逆に取り入れた方がいいものとか、是非ご検討いただければなと思います。以上です。

(事務局：乙山)

ありがとうございます。

(木村議長)

ご意見ありがとうございます。他の方からよろしいでしょうか。

(吉岡委員)

はい。教務主任会の代表として来ているのですが、個人的にはこういう使い方がいいのかどうか疑問には思っているところがありますが、私、理科の教員をやっておりまして、授業の中でも1人1台端末は活用させていただいているが、一番子どもたちが身近なところで、実は部活動で結構使う場面が多いです。私も若い頃は自分で色々やったり、生徒に動きを見せたりすることができましたが、今もうそこまでできなくなっていて、ネットを見ると色々な陸上競技の動きなどが載っています。子どもたちがそれを参考にして練習等に活用したり、先生こういう練習がしたいですと、子どもたちの方から持ってきたりとか、そういう場面が多くて、そういう活用もされている、子どもたちも逆に生き生きとそういうのを利用して活動もできるなという感想です。

(事務局：乙山)

ありがとうございます。

(木村議長)

はい、大沢先生お願ひいたします。

(大沢委員)

大沢です。よろしくお願ひします。

一般研修では、いつも乙山先生に来ていただいて、たくさん勉強になるなと思っていて、研修主任としても大変助かっておりました。

先程、年齢層でChromebookとか1人1台端末の扱いがどうかというようなお話が出ていましたが、ベテランの先生方、最初入り口としては敬遠されがちなところはありますが、やり方とか、使った効果とか、利点とか、そういうたところが分かるとものすごく使ってくださいます。もちろん乙山先生に来ていただいて、色々教えていただく、そこから授業の中でどのように使っていくかというようなところが、教員間の情報交換が学校の中でできていく、もっと知つていければ、どんどん広がっていくのかなというようなところです。

今、視聴覚研の方では、Canva、Kahoot!、Padlet、Geminiというような教育系アプリの使い方の講座を行っています。もちろん慣れている方々は大丈夫ですけれども、理事以外の方々にももうちょっと使い方を広めていきたいと思っております。今年で2年目になりましたので、次それがどのように使っていけるかというような、そういうたものを蓄積して皆様に伝えていければというのが視聴覚研的に思っているところであります。その実践事例などを色々紹介していただき、使っていければと思っております。その事例を市内全体で共有するのはなかなか難しいですが、そういうところができていくと、さらにいいのかなと思いました。以上です。

(木村議長)

ありがとうございます。各研究会、それから総合教育センターさんと色々連携しながらやれていけば、さらに広がるのではないかと思いました。ありがとうございます。

では、次に進めてよろしいでしょうか。次の「国際理解教育・英語教育推進事業」について事務局より報告願います。

(事務局：西村) 説明

(木村議長)

では、委員の皆さんからご意見、ご質問があればお願ひいたします。

はい、では木南先生お願ひいたします。

(木南委員)

はい、説明の方ありがとうございました。これから言う提案はセンター事業と直接関係が

ないのですが、この間、中学校の外国語教育活動でALTの先生と日本人の先生とでTTで、1コマ20分ぐらいの授業を3つ見せ合い、そこで勉強し合うという研修会を、授業研究部で行いました。

(事務局：西村)

江陽中ですか。

(木南委員)

はい。ALTの先生同士での情報交換ももちろん大事ですし、こういう風にやっているから技術力がアップしたり、生徒たちへの接し方が向上しているというのもすごく良く分かりましたが、ALTの先生たちも見ることができれば日本人の先生とどういう掛け合いをしていくのか勉強になると思いました。その時は授業の公開をしてくださる3人の先生の所属校のALTだけがいらっしゃったので、教育委員会と小・中教研が協力してやれたら、より充実するのかなと思いました。以上です。

(事務局：西村)

ご意見ありがとうございます。ALTが小教研や中教研に見に行き、日本人の先生とのより良い掛け合いを勉強しています。その時に行くことができない場合は授業で動画の様子をアップして、それを確認して、良い点例えばこういう風なところを日本人の先生方が求めていて、どういう風なことをするとここがもっと良かったっていうのを、月例会で見ながら研修しています。自分の強みからもっとこのように改善できるなど、気づかせるように、働きかけています。

今回の江陽中の研修開催日は、文化祭の間近であったなど記憶しています。それが行われるということがこちらにはお話がなかったのですが、3人のALTが江陽中でTTをやるということは、ALTから聞いておりましたので知っていました。

計画訪問でALTとのTTのところを入れてくださっている先生方もたくさんいらっしゃいますし、残念ながら指導案のとおりにいきたいのでということで、お一人だけでやる方もいらっしゃいます。木南先生もALTと急遽入れてくださってありがとうございます。計画訪問でもアドバイスをしながら、日々研修を進めていきたいと思います。今日の貴重なご意見を含めてありがとうございました。

(木南委員)

報告するように言っておきます。

(木村議長)

ご提案ありがとうございます。他にございますか。はい、お願いします。

(和泉委員)

江陽小学校の和泉です。いつもありがとうございます。ALTの先生にはすごくお世話になつていて、うちに来ているマイク先生は今1年経ったのかな。慣れてきましたが、今回は学習発表会で英語劇をする学年があって、そこにすごく協力してくださり、それから今2学期になってからスライドを作ったので見てくれるって言われて、学習に即した内容に合わせて道案内の単元でしたが、そこを八戸市の町にしてスライドを作ってきててくれて、それで子どもたちと楽しく道案内もできました。

ALTの先生はやりたいことがあって、それを私たちがいっぱいコミュニケーションをとつて聞いていればもっとできるのかなと思って、そしたら次の単元もじゃあこういうものができるかなって言ったら、早速作ってきててくれて、すごく授業がまた変わってきた感じがしてとても助かっています。はい、以上です。

(事務局：西村)

ありがとうございます。この間の月例会でも、ちょうど好事例紹介で道案内のところを出していました。それを見ながらマイクさんもいっぱい意見を出しながら、ここが良いよねっていう話をしていたので、おそらく自分の持っているものに加えて授業をしたのではないかと思います。

授業で作ってくださったものを、先ほどご紹介したClassroomにアップしていただくと、色々な学校でそれを活用したり、アレンジしてALTがやったりということができるかなと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(和泉委員)

ありがとうございます。

(木村議長)

ALTの方々も研修されているのだなと改めて感じました。では、次に行ってよろしいでしょうか。次の「児童科学館事業」について事務局より報告願います。

(事務局：青木) 説明

(木村議長)

では委員の皆様からのご意見、ご質問をお願いいたします。はい、では和泉先生お願いします。

(和泉委員)

はい、すいません。江陽小学校の和泉です。

うちの学校の3、4年生がこの間遠足でプラネタリウムを利用させていただきましたが、戻ってきた時にすごく良かったということを口々に話していました。何が良かったかというと、まず4年生の理科の星の動きの様子とかがすごく見るだけでよく分かったということでした。それから江陽小学校が出て、その江陽小学校のところから見える星とかそういうのが分かるそうです。すごくそれが楽しかったって子どもたちも、一緒に行っていた先生方も言っていて、本当に私も行ってみたいなと思って、まだ行けていませんが、見に行きたいなと思いました。

それから、江陽地区の方が行ってきたって言われて、地域の方も、あまり興味がなかった方も新しくなったから行ってみたいなってことで行っているそうです。そういう話を聞きました。すごく良かったということなので、本当はもっと学校単位で利用できるといいのかなと思いますが、なかなか交通費とかもかかるので難しいかなと思うのですが、すごく学習に役立つ番組だったということなので、これからもより良い番組作りをして頂けるともっと利用できるかなと思います。ありがとうございます。

(事務局：青木)

ありがとうございます。

(木村議長)

他にございますか。はい、吉岡先生お願ひします。

(吉岡委員)

はい、中学校の理科の教員として、感想だけになりますが、いつもこのような事業を聞くたびに、特に中学校の理科でいくと天体の分野ですね、ぜひ活用してみたいなとは思っています。しかし、いつもジレンマがあって、先程あったとおりなかなかそういう時間設定ができないということと、あとやはりバス代が高くなってしまって、今白銀南中学校にいますが、やはり徒歩で行くのは無理ですので、行くとなればバスを利用してってなると、どうしても色々な制約がある、本当に素晴らしい施設があるにも関わらず、利用できないというジレンマがある、なんとかうまい活用の方法はないかと、考えているところです。何かいいアイデアがあったらお願ひします。

(事務局：青木)

はい、今ここではというのは無いですが、他の課の実践なども調べて調整しながら、もし良いアイデアがありましたら、各学校にお知らせしたいなと思っております。よろしくお願ひします。以上です。

(木村議長)

提案ということありがとうございます。他よろしいですか。はい、お願ひいたします。

(太田委員)

ご説明ありがとうございました。私個人としては科学の祭典のお手伝いに以前参加させていただいたことがありますので、かなり前になりますがスライム作りの担当をしてたくさんの子どもたちが来て、本当に楽しく、私自身が教職について2年目とか3年目とか本当に若い時、なりたての時だったので、すごく理科の実験のことも踏まえつつ、勉強になったなと思ってお話を聞いておりました。その時いただいた資料とかまだ持っていて、結構すきま時間とか、クラブの時の子どもたちのちょっとした実験とか、ちょっとしたレクのところにも活用させていただいていました。

子どもたちも科学の祭典あるよってお話をすると、行きましたとか、プラネタリウムに、6年生も天体の勉強があるので、今度おうちの人と行く約束していますというお話を最近も聞きましたし、本当に身近なところにあるなと思ってお話を聞いていましたので、これからも子どもたちもちろん、私も活用していくならなと思っています。ありがとうございます。

(木村議長)

ありがとうございます。他よろしいですか。はい、お願ひします。

(石塚委員)

実は私元々出身が宮崎で、色んなところを転々として八戸市に来て4年です。4年の間に、児童科学館に行ったのが2、3回ぐらいしかなくて、本来もっと有効活用しなきゃなと。もっと行って体験させたらなという風に思っていた次第ですけれども、ただ、行くと必ず子どもがすごく素晴らしい体験をして、目を輝かせてやっているし、帰ってきても大切に作品を持っていますという傾向があります。

お話の中に、市民のニーズを拾いながらっていう風にありましたけど、市民の方のニーズって何がありますでしょうか。

(事務局：青木)

はい。指定管理者からのアンケートによると、まずプラネタリウムが新しくなって良かった。それとやはり、大人向けの番組も投映してほしいという声を受けまして、9月からは休みの日の2時には大人向けの番組を流しております。

あとは展示物が古いので、新しくしてほしいという声も上がっており、40代とかの方が、自分が昔行った時と変わってなくて、あの古さも大事にしてほしいということで、両極端のご意見をいただいている中で、そこを調整しながら令和10年度のリニューアルに向けて進めてまいりたいなと考えております。以上になります。

(石塚委員)

ありがとうございます。一方で科学館さんの方で、とりたい層ってありますか。こういう年代の、小学生とか、40代とかそういう思案的なものはありますか。

(事務局：青木)

はい。プラネタリウムをリニューアルする前は、子どもの活用が非常に多かったんですけども、リニューアル後は大人の利用も非常に増えてきていますので、どの年代というわけではなくて、広い年代の方が楽しめるように科学館の運営をしてまいりたいというところで我々も話を聞いていますし、こちらからも指定管理者に要望しておりました。

(石塚委員)

承知しました、ありがとうございます。

すみません、ちょっと難しい提案になるかもしれません、素晴らしい場所なので1つ広報という意味で、来場者にSNS発信をしてもらうようなコンテストのようなものを行うのはどうかと思いました。なんなら甲子園みたいな、例えばTikTokとか、Instagramとか、若い層の方向けだと、広島の方が子どもの科学館って結構ヒットします。一方でXは頑張っていらっしゃるので、八戸市すぐ出てきますが、そのSNSを見ている層の方たちに科学館を発信してもらおうっていうのも、科学館からも発信もそうですが、それだとマンパワーで足りない時があるので、行った体験談的なものを発信してもらうとか、そういういったフォトコンテストとか、動画コンテストとか、甲子園みたいな、そんな感じで拡散していくところで、今後ご検討いただければなという風に感じました。以上です。

(事務局：青木)

ありがとうございます。今のご意見を参考に、これから進めてまいりたいなと思います。よろしくお願いします。

(木村議長)

はい、ありがとうございます。

では、5番の児童科学館の事業についての報告を終わりたいと思います。

(木村議長)

では、その他になりますけれども、教育センターの運営について、何かご意見等ありますでしょうか。

はい、では中学校長会代表の佐々木先生お願いします。

(佐々木委員)

はい、第三中学校の佐々木です。本日はどうもありがとうございました。

お礼も兼ねて、実は中学校の校長会、中教研、中体連、中文連、今三戸郡の方と合同で様々なことを行っております。各教科や領域の夏期講習会、冬期講習会も三戸郡に呼びかけており、明日行われる中教研も、三戸郡に呼びかけて合同で行っております。

八戸市もそうですが、三戸郡はもっと教員減少が非常に激しくて、実技教科等の研究が非常に難しいという事で、特に中教研の分野等で、合同でやらせていただいています。八戸市教育委員会の管轄であるにも関わらず、校長会や各教科の夏期講習会、冬期講習会で教育センターを使う際も、合同で三戸郡の先生方、どうぞという風にいつも気がねなく使わせていただいて。実はそういうお知らせをする度に郡の先生方から、行ってもいいですかって聞かれます。一応確認でお電話しますが、どうぞといつも、使わせていただいています。中学校はそういう風な、色んなことが三戸郡と合同で行われて、郡は郡で町村ごとの色なんなくくりがあるので、色々難しいところはありますが、そういったところにも非常に広く門を開けていただいているので、これからも研修の場としてさらに門を広めて、活用させていただければということでのお礼です。本当にいつもありがとうございます。以上です。

(木村議長)

はい、ありがとうございました。その他よろしいでしょうか。

それでは、以上で協議を終了したいと思います。

(事務局：田端)

ありがとうございました。

会長を務めてくださいました木村様、副会長を務めてくださいました佐藤様、どうもありがとうございました。

最後に、当センターの鈴木所長からお礼の言葉を申し述べます。

(鈴木所長)

はい。当センター運営協議会終了に際しましてまして一言御礼を申し上げます。本日は御多用の中にも関わらず、八戸市連合父母と教師の会 代表 石塚勇一朗様のご臨席をはじめ各校からの先生方のご参加に心より感謝いたします。また、議事を進行してくださいました木村校長先生、佐藤校長先生本日は本当にありがとうございました。この協議会では大きく分けて5つの事業等についてご説明させていただきました。その後の忌憚のないご意見やご助言につきましては今後当センターが事業を進めていく上で大いに参考または取り入れて参りたいと考えております。当センターの重要な役目として教職員の研修を充実させること、教育に関する専門的および技術的な研究及び調査に取り組むことが課せられております。これからも先生方をはじめ保護者の皆様方から御意見をいただきながら、役割を果たせられるよう努めて参ります。現在の近々の課題として働き方改革に伴いより

一層の教育現場のDX化、教職員一人一人の情報機器等の活用能力向上が求められています。

学校現場は児童生徒と向き合う時間確保のため日々の激務の為様々な苦労をされ時間を捻出されていることだと思います。教育DXやICT活用につきましてはより多くの先生方に非常に役にたったと言っていただけるような研修内容の構築を心がけて参りますが よりニーズにそった研修にするため、引き続き学校現場の声を聞かせてくださいますようお願いいたします。

最後になりますが当センターは今後とも学校寄り添いながら引き続き先生方のバックアップとして頼って頂けるような存在になるように努めてまいります。時に当センターからも御協力等をお願いいたします。その時には無理のない範囲でお話を聞いていただけると幸いです。宜しくお願いいいたします。

改めまして本日は皆様の貴重な時間をいただき、八戸市総合教育センターの運営協議会を開催させていただくことができました。これからの方々の皆様のご活躍とご健康を祈念しお礼のご挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

(事務局：田端)

それでは以上をもちまして、令和7年度八戸市総合教育センター運営協議会を終了いたします。皆様お忙しいところ大変ありがとうございました。